

2021年3月期 通期 ダイジェスト資料（1）

【通期実績及び来期見込み】

(単位:百万円、%)											
		2020年3月期		2021年3月期							2022年3月期
		4Q実績	通期実績	4Q実績	通期見込み (3Q時)	通期実績	前年差	前年増減率	見込み差	通期計画	
売 上 高		277,520	1,229,826	273,113	1,180,000	1,176,101	△ 53,725	△ 4.4	△ 3,899	1,180,000	
	加工事業本部	120,359	532,279	119,863	—	523,915	△ 8,364	△ 1.6	—		
	食肉事業本部	173,130	755,482	166,360	—	728,655	△ 26,827	△ 3.6	—		
	海外事業本部	57,012	254,987	53,961	—	223,932	△ 31,055	△ 12.2	—		
	消去・調整他	△ 72,981	△ 312,922	△ 67,071	—	△ 300,401	12,521	△ 4.0	—		
事 業 利 益		4,533	43,772	8,512	48,000	52,426	8,654	19.8	4,426	48,000	
	加工事業本部	455	13,293	1,934	16,370	17,908	4,615	34.7	1,538	15,000	
	食肉事業本部	7,689	31,900	8,819	39,480	41,113	9,213	28.9	1,633	37,000	
	海外事業本部	△ 1,199	1,849	△ 431	△ 460	△ 94	△ 1,943	—	366	500	
	消去・調整他	△ 2,412	△ 3,270	△ 1,810	△ 7,370	△ 6,501	△ 3,231	—	869	△4500	
税引前利益		△ 6,361	27,039	4,504	39,000	48,874	21,835	80.8	—	43,000	
法人所得税費用		△ 1,258	8,106	1,137	14,000	17,816	9,710	119.8	—	13,500	
親会社の所有者に帰属する当期利益		△ 4,713	19,214	4,105	26,000	32,616	13,402	69.8	6,616	30,000	

※21/3月期の管轄変更(旧関連企業本部・エキス・食肉一次加工)に伴い、 21/3月期の増減要因は遡及修正済み

※四捨五入表記のため、数値の和・差と合計が一致しない場合があります。

【海外事業本部の内訳】

(単位:百万円、%)													
		2020年3月期			2021年3月期								2022年3月期
		4Q実績	通期実績	売上高比	4Q実績	通期見込み (3Q時)	通期実績	売上高比	前年差	前年増減率	見込み差	通期計画	
海外 事業本部計	売上高	57,012	254,987	—	53,961	—	223,932	—	△ 31,055	△ 12.2	—	—	—
	外部顧客に対する売上高	28,563	129,610	50.8	27,553	—	112,348	50.2	△ 17,262	△ 13.3	—	—	—
	セグメント間の内部売上高	28,449	125,377	49.2	26,408	—	111,584	49.8	△ 13,793	△ 11.0	—	—	—
	事業利益	△ 1,199	1,849	—	△ 431	△ 460	△ 94	—	△ 1,943	—	366	500	
豪州 (ワルグアイ含)	売上高	20,512	98,976	—	18,560	—	81,066	—	△ 17,910	△ 18.1	—	—	—
	外部顧客に対する売上高	17,200	81,783	82.6	16,069	—	68,554	84.6	△ 13,229	△ 16.2	—	—	—
	セグメント間の内部売上高	3,312	17,193	17.4	2,491	—	12,512	15.4	△ 4,681	△ 27.2	—	—	—
	事業利益	△ 788	1,466	—	△ 263	△ 1,070	△ 1,042	—	△ 2,508	—	28	△ 690	
米州	売上高	21,620	84,654	—	22,449	—	88,164	—	3,510	4.1	—	—	—
	外部顧客に対する売上高	5,436	21,862	25.8	5,078	—	20,400	23.1	△ 1,462	△ 6.7	—	—	—
	セグメント間の内部売上高	16,184	62,792	74.2	17,371	—	67,764	76.9	4,972	7.9	—	—	—
	事業利益	85	697	—	346	2,410	2,726	—	2,029	291.1	316	1,980	
アジア・ 欧州	売上高	15,281	73,993	—	13,297	—	56,493	—	△ 17,500	△ 23.7	—	—	—
	外部顧客に対する売上高	5,927	25,964	35.1	6,406	—	23,394	41.4	△ 2,570	△ 9.9	—	—	—
	セグメント間の内部売上高	9,354	48,029	64.9	6,891	—	33,099	58.6	△ 14,930	△ 31.1	—	—	—
	事業利益	△ 157	809	—	△ 268	△ 850	△ 818	—	△ 1,627	—	32	180	

※四捨五入表記のため、数値の和・差と合計が一致しない場合があります。

【設備投資、減価償却費】

(単位:百万円、%)								
区 分		2020年3月期	2021年3月期					2022年3月期
		通期実績	通期計画	通期実績			通期計画	
前年差	前年増減率			計画差				
設備投資額合計		47,802	84,700	82,902	35,100	73.4	△ 1,798	81,700
	加工事業本部	16,995	26,700	26,032	9,037	53.2	△ 668	17,200
	食肉事業本部	11,735	18,300	15,966	4,231	36.1	△ 2,334	26,000
	海外事業設備	6,032	5,100	4,955	△ 1,077	△ 17.9	△ 145	7,000
	そ の 他 設 備	13,040	34,600	35,949	22,909	175.7	1,349	31,500
減価償却費		33,038	34,400	33,939	901	2.7	△ 461	34,600

【中期経営計画2020 設備投資額の見直し】

	中期経営計 画 パート5実績	中期経営 計画2020 当初計画	中期経営 計画2020 実績	計画差	中期経営 計画2023 当初計画
設備投資額合計		210,000	178,524	△ 31,476	248,000
加工事業本部		94,400	70,124	△ 24,276	45,700
食肉事業本部		78,300	41,468	△ 36,832	78,100
海外事業本部		25,800	15,890	△ 9,910	18,800
その他設備		11,500	51,042	39,542	654
IFRSリリース					40,000

【品種別売上実績】

(単位:百万円、%)										
		2020年3月期		2021年3月期						
		4Q実績	通期実績	4Q実績	通期見込み (3Q時)	通期実績	前年差	前年増減率	数量伸長率	見込み差
ハム・ソーセージ		28,732	130,982	28,776	132,700	132,425	1,443	1.1	△ 0.1	△ 275
加工食品		53,731	228,833	55,515	221,800	223,585	△ 5,248	△ 2.3	△ 2.8	1,785
食 肉		161,997	711,753	156,714	676,900	672,880	△ 38,873	△ 5.5	△ 5.6	△ 4,020
	牛 肉	62,052	296,913	56,324	257,200	256,999	△ 39,914	△ 13.4	△ 12.6	△ 201
	豚 肉	54,296	226,612	53,616	231,800	229,450	2,838	1.3	△ 4.1	△ 2,350
	鶏 肉	40,488	166,032	42,783	166,300	166,222	190	0.1	△ 2.0	△ 78
その他食肉		5,161	22,196	3,991	21,600	20,209	△ 1,987	△ 9.0	△ 15.3	△ 1,391
水 産		16,386	80,724	16,333	76,600	76,853	△ 3,871	△ 4.8	△ 3.6	253
乳製品		7,907	33,614	7,306	32,300	31,967	△ 1,647	△ 4.9	△ 5.3	△ 333
その他		8,767	43,920	8,469	39,700	38,391	△ 5,529	△ 12.6	—	△ 1,309
合 計		277,520	1,229,826	273,113	1,180,000	1,176,101	△ 53,725	△ 4.4	—	△ 3,899

【セグメント別事業利益と事業利益増減要因】

[連結計]

		2021年3月期		
		3Q時見込	通期実績	差異
(単位:億円)				
売上高	加工事業本部	-	5,239	△ 84
	食肉事業本部	-	7,287	△ 266
	海外事業本部	-	2,239	△ 311
	消去・調整他	-	△ 3,004	125
	計	11,800	11,761	△ 551

2022年3月期	
通期計画	前年実績 差異
4,980	
7,000	
2,500	
△ 2,680	
11,800	39

		2021年3月期		
		3Q時見込	通期実績	差異
(単位:億円)				
事業利益	加工事業本部	164	179	15
	内)水産・乳製品とエクス・一次加工事業	26	31	5
	食肉事業本部	395	411	16
	海外事業本部	△ 5	△ 1	4
	消去・調整他	△ 74	△ 65	9
	計	480	524	44

2022年3月期	
通期計画	前年実績 差異
150	△ 29
-	-
370	△ 41
5	6
△ 45	20
480	△ 44

事業利益増減要因(通期)
加工事業本部:前期実績は3Q時点計画値に対して+15億円となった。2022年3月期計画では△29億円の減益を見込む。
水産・乳製品とエクス・一次加工事業では、3Q時点計画値より+5億円となった。
食肉事業本部:前期実績は3Q時点計画値に対して+16億円となった。2022年3月期計画では△41億円の減益を見込む。
海外事業本部:前期実績は3Q時点計画値に対して+4億円となった。2022年3月期計画では+6億円の減益を見込む。
消去調整他で△45億円を見込む。

[加工事業本部]

		2021年3月期		
		3Q時見込	通期実績	差異
(単位:億円)				
事業利益		164	179	15
増減要因 内訳	ハム・ソーセージ、デリ商品(既存事業)	31	41	10
	(外部要因:主原料等)	△ 3	0	4
	(内部要因①:数量拡大)	8	9	1
	(内部要因②:改善活動)	27	32	5
	ベンダー・物流	△ 5	△ 5	0
	水産・乳製品事業、エクス・一次加工品事業	5	10	5
	DX費用	0	0	0
	合計	31	46	16

2022年3月期	
通期計画	前年実績 差異
150	△ 29
△ 21	
△ 20	
1	
△ 2	
10	
9	
△ 26	
△ 29	

事業利益増減計画差要因(通期)
副資材、燃料等:羊腸を中心に改善し、+4億円計画を上回った。
コンシューマ商品の伸長で+1億円上回った。
販促費の減少による経費削減で+5億円上回った。
ベンダーは新規アイテム導入と労務費削減により改善、物流は社外物流の売上未達で計画通りとなった。
水産は品種構成が改善、乳製品はバニラヨーグルト群の売上拡大、エクス・一次加工においては販路シナジー効果の発現もあり改善し+5億円上回った。
来期においては、DX費用が発生し、今期▲27億円の減益要因となる。

[食肉事業本部]

		2021年3月期		
		3Q時見込	通期実績	差異
(単位:億円)				
事業利益		395	411	16
増減要因 内訳	輸入食肉市況	△ 2	2	4
	国産食肉市況	17	18	1
	国内ファーム事業	61	73	12
	フード事業の伸長	1	△ 1	△ 2
	DX費用	0	0	0
	その他	△ 2	0	2
	合計	75	93	18

2022年3月期	
通期計画	前年実績 差異
370	△ 41
3	
△ 2	
△ 21	
4	
△ 24	
△ 2	
△ 41	

事業利益増減計画差要因(通期)
市況の改善、付加価値商品の販売数量増加で+4億円上回った
鶏肉で堅調な需要に支えられ、「桜姫」等のブランド食肉が販売増、豚肉では「麦小町」を中心としたブランド食肉の販売が拡大で+1億円上回った
国産鶏肉で、処理羽数増と市況が想定を大きく上回り+12億円の増益
肉食需要が落ち着き、量販店の販売伸長が鈍化、外食チャネルも販売低迷し、▲2億円計画を上回った。
来期においては、DX費用の発生で▲24億円の減益要因となる。

[海外事業本部]

		2021年3月期		
		3Q時見込	通期実績	差異
(単位:億円)				
事業利益		△ 5	△ 1	4
増減要因 内訳	オーストラリア	△ 30	△ 32	△ 2
	ウルグアイ	4	8	3
	米州	17	20	3
	アジア・欧州	△ 17	△ 17	0
	その他	2	1	△ 1
	合計	△ 23	△ 19	4

2022年3月期	
通期計画	前年実績 差異
5	6
0	
3	
△ 8	
10	
0	
6	

事業利益増減計画差要因(通期)
処理頭数減少に伴う生産コストの上昇と売上高減少により、△2億円計画を下回った。
4Qに入り、想定以上に生体価格が低下したこと、営業強化による販売単価改善効果の発現で+3億円上回った。
北米で加工食品の安定した販売と経費の減少、対日向けの食肉輸出が増加し+3億円上回った。
トルコ通貨安と穀物価格高騰で生産コストが上昇したが、中華圏の販売が伸び計画並みとなった。

※21/3月期の管轄変更(旧関連企業本部・エクス・食肉一次加工)に伴い、 21/3月期の増減要因は遡及修正済み

※四捨五入表記のため、数値の和・差と合計が一致しない場合があります。